

講義科目名称： 統合実習

授業コード： 53205700

英文科目名称： Integration Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4	2	必修
担当教員			
横田 香世			
添付ファイル			

科目の概要	既修得知識、技術、態度、倫理観を統合し、看護チームの一員としての臨床実務に即した実習を通して、適切な看護の提供とマネジメントの方法を学ぶ。 また、保健・医療・福祉の協働・連携における看護職の調整と役割、責任を理解し、総合的に看護実践ができる能力を養う。
授業の内容	1) 実習期間： Aクラス；平成31年6月21日（月）～7月2日（金） Bクラス；平成31年6月21日（月）～7月2日（金） (1) 履修ガイダンス（4月） (2) 実習前ガイダンス（5月8日） (3) 実習初日ガイダンス（実習初日） 3) 実習の進め方 (1) 看護管理実習：事前課題を基に見学・考察し理解を深める。看護師長レベルの管理業務、チームリーダーやスタッフレベルのマネジメントに関し説明を受け見学、一部実施する。 (2) 実習初期より複数の患者を受持ち、看護過程を展開しながら効率的な看護援助の方法を学ぶ。
学習到達目標	1. これまでに学習した知識、技術、態度を基に、臨床実務に近い実習を体験し統合する意味と必要性の理解を深める。 2. 複数の患者を同時に受持ち、複数の援助を判断し適切に実践できる能力を高める。 3. 医療安全の基本的な考えと行動の理解を深め、事故防止の方法を学ぶ。 4. 患者への継続的看護や管理業務の体験、学習を通して、チーム医療の進め方、多職種との協働、連携の方法を理解できる。 5. 入退院支援の業務を体験し、地域との連携・協働について理解する。また、地域包括ケア支援センターの役割について理解を深める。 6. 管理業務の学習、見学を通して管理者やスタッフの役割を理解し、リーダーシップやメンバーシップを含む看護マネジメントの基礎的能力を養う。
授業の方法	【授業形態】 実習と振り返り、自己評価  【アクティブラーニングの取り入れ状況】 実習前に事前学習を行い、資料を作成して実習に臨む。実習内容について日々振り返りを行い、理解を深める。実習内容について記録を行い、適宜指導教員や実習指導者に指導を受ける。実習を通して、総合的に看護実践ができる能力を養う。  【ICTを利用した双方向授業】 学内実習では遠隔授業やDVDを用いた授業を行い、臨地実習で学べなかった内容について補足する。  【その他特記事項】
成績評価の方法	【評価項目】 事前課題、実習態度、実習記録、出席状況、実習目標に対する達成度  【割合】 事前課題、実習態度、実習記録、出席状況、実習目標に対する達成度を総合的に評価する。
教科書・テキスト	特に指定しない
参考書	必要時、指示、紹介する。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	実習開始までに、下記のテーマで事前学習する。その内容をもとに見学実習を行なう。 テーマ：看護管理の理解 1. 看護管理の基本（組織、人、物、看護ケア） 2. 管理職の業務、役割 3. 看護ケアマネジメントについて 4. 医療安全の確保と医療事故への対応 5. チーム医療、病院内の医療チーム、他職種との連携・協働の方法 6. 地域包括システムと地域包括ケアセンターの役割 7. 入退院支援室の役割
履修上の留意事項	実習中の行動 ・実習中は常に、看護チームの一員として看護師と行動を共にする。 ・一勤務帯を通じた実習を理解、想定し、臨床業務のプロセスの中で必要な基礎的知識と技術、判断力などを総合的に経験し学ぶ。 ・援助の優先順位の考え方、時間管理の必要性についてなど看護師が看護実践する際の思考過程の説明を受け、実践し理解を深める。
オフィスアワー	学内実習日
課題に対するフィードバックの方法	実習期間中、日々学生指導行いながら質問に答えフィードバックする。
実務経験	看護師（慢性疾患看護専門看護師）

	看護管理者
その他	